

～令和6年度～

青少年のネット利用実態調査結果

令和7年1月

大分県生活環境部生活環境企画課
大分県教育庁教育デジタル改革室
大分県教育庁学校安全・安心支援課

目 次

○ 令和6年度「青少年のネット利用実態調査」結果について	P 1
○ 別紙		
1 青少年のインターネット利用率・利用機器	P 5
2 青少年のスマートフォンの利用について	P 6
3 青少年のインターネット利用内容	P 7
4 青少年のインターネット利用時間	P 10
5 青少年のインターネット利用による生活の変化	P 12
6 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談	P 14
7 フィルタリングの利用状況等	P 20
8 家庭でのルール	P 21

令和6年度「青少年のネット利用実態調査」結果について

1 調査目的

近年、青少年の周囲にも普遍的にインターネットが普及することにより利便性が高まる反面、インターネットに係るトラブルや事件に巻き込まれる問題が発生しており、ネット依存など生活習慣への影響も危惧されている。

これらを未然に防止し、かつ青少年の情報活用能力を高めるためには、インターネット利用状況や活用方法、トラブル事例などに加え、保護者の認知状況などの実態を把握したうえで今後の施策に反映することが重要であるため、子どもの利用実態や保護者の意識等を調査する。

2 調査対象

調査は、県内の小学校、中学校、高等学校の児童生徒 1,500 人とその保護者 1,500 人の計 3,000 人を対象に行った。対象の学校は、地域に偏りがないよう抽出した。

今年度の調査票の配布数と回収率は表のとおり。

(表 調査票の配布数と回収率)

		小学2年	回収率	小学5年	回収率	小学生	回収率	中学2年	回収率	高校1年	回収率	総数	回収率
児童生徒	配布数	252人	102.4%	250人	109.6%	502人	106.0%	499人	96.4%	517人	96.7%	1,527人	99.1%
	回答数	258人		274人		532人		481人		500人		1,513人	
保護者	配布数					502人	93.0%	499人	70.5%	517人	82.6%	1,527人	81.6%
	回答数					467人		352人		427人		1,246人	

3 調査方法

対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票（小学生・中高校生・保護者の3種類）を作成し、児童生徒はWeb調査、保護者は紙面調査を行った。

4 調査時期

令和6年9月

5 調査内容

調査は主に大きく分けて以下のような項目で行った。

- (1) インターネットを利用する機器、内容、環境
- (2) インターネット利用による生活の変化
- (3) インターネット利用時のトラブル等と相談
- (4) フィルタリングの利用状況と家庭のルール
- (5) 保護者自身のインターネット利用に関すること

6 調査結果の概要（調査結果の数値は「別紙」のとおり）

(1) 青少年のインターネット利用率・利用機器

- 全体で95%以上の子どもたちが学校以外の私生活でインターネットを利用している。
- 利用機器は、小学生はゲーム機、中学生・高校生ではスマートフォンが最も多い。
- テレビでのインターネット利用が、小・中・高校生すべてで年々増加している。
- 保護者は、ほぼ全員の子どもがインターネットを利用していると認識している。

(2) 青少年のスマートフォンの利用について

- 中学生は70%以上、高校生はほぼ全員が自分専用のスマートフォンを利用している。
- 自分専用のスマートフォンを利用している小学生が年々増加している。
(R4: 25.9%⇒R5: 34.9%⇒R6: 38.8%)
- スマートフォンの利用開始時期は、高校生は「中学生から」が約半数、中学生は「小学生から」が約半数となっている。

(3) 青少年のインターネット利用内容

- インターネット利用内容は、小学生では、「動画視聴」「オンラインゲーム」「音楽視聴」の順（昨年と同じ）に、中学生では、「動画視聴」「SNS」「音楽視聴」の順（昨年「動画視聴」「情

報検索」「音楽視聴」)に、高校生では、「SNS」「動画視聴」「音楽視聴」の順(昨年「動画視聴」「SNS」「音楽視聴」)に多くなっている。

- 年齢層が上がるにつれ、「SNS」の利用率が増加傾向にある。
- 利用するサービスは、「動画視聴」が最も多く、全体の約90%が利用している。
- 利用しているソーシャルメディアは、中学生では「YouTube」「LINE」「Tik Tok」の順(昨年と同じ)に多く、高校生でも「LINE」「YouTube」「Instagram」の順(昨年と同じ)に多くなっている。
- 中学生・高校生ともに、「Bereal」「Threads」といった新しいアプリの利用が増えている。
- 子ども全体の約2割がゲーム中にチャットやボイスチャットをしている。
- スマホやネットを利用する理由は、中学生・高校生ともに「分からないことを調べる、情報収集」「家族や友達との連絡手段」「趣味を楽しむ」が上位であるが、「暇つぶし」で利用している生徒も中学生・高校生で約35%いる。
- SNS利用時、中学生・高校生の約80%が、「他人の悪口を書いたり侮辱しない」「自分や他人の個人情報を書き込まない」等に気を付けている。
- SNS利用時、「特に気を付けていない」という子どもは、全体で約7%となっている。

(4) 青少年のインターネット利用時間

- 平日に2時間以上ネットを利用しているのは、小学生41.1%(R5:36.5%)、中学生58.7%(R5:50.8%)、高校生56.5%(R5:67.4%)であり、全体では57.5%(R5:51.6%)と増加している。
- 小学生は、昨年度に比べ、5年生の利用時間が増加している。(子ども回答)
- 中学生は、昨年度に比べ、4時間以上の利用が約7ポイント増加している。(子ども回答)
- 保護者が把握している子どもの利用時間よりも実際の子どもの利用時間が多く、2時間以上利用では小学生で18ポイント、中学生では15ポイント、高校生で7ポイントの差がある。

(5) 青少年のインターネット利用による生活の変化

- 子どもと保護者を比較すると、子どもの方がインターネット利用により「友人関係が良好になった」「友達が増えた」「分からないことを自分で調べるようになった」などと良い(プラス)傾向を示す回答が変わらず多い。
- 「使いすぎ・依存の傾向がある」と回答したのは、中学生が24.8%(R5:28.6%)高校生が37.1%(R5:27.2%)で、保護者のうち、小学生が41.6%(R5:36.0%)中学生が43.9%(R5:39.6%)高校生が40.5%(R5:39.6%)であり、子どもの約3割、保護者の約4割はインターネット依存について課題意識を持っている。

(6) 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談

- 子ども・保護者ともに、約93%がトラブルの経験はないと回答している。
- トラブルの内容のうち、子ども・保護者ともに、「悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ」「SNSなどやりとりで嫌な思いをした」「知らない人やお店からメッセージが来たり、迷惑メールが届いた」が多い。
- ネット利用時の相談先については、家族、友人、次いで学校の先生が多い。
- 「ネット上の友達」への相談については、全体で6.7%(R5:10.8%)と減少している。
- 「チャイルドライン・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察」への相談した子どもはいなかった。
- 「トラブルはあるが誰にも相談しなかった」子どもが全体で23.3%いる。
- 相談しなかった理由は、全体では「自己解決した」が最も多い。
- 高校生では、「相談することで問題が大きくなると考えた」との回答もあり、トラブルを隠したがる傾向も見られる。
- 約4割の子どもが「解決していない」「分からない」と回答しており、トラブルの解決には至っていないものもある。
- 「ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりした」子どもは、中学生31.8%(R5:29.2%)、高校生38.0%(R5:48.8%)であった。(子ども回答)
- 「ネットで知り合った人と実際に会った」では、「同性に会った」が中学生3.6%・17人(R5:2.3%・11人)、高校生4.4%・22人(R5:6.8%・33人)、「異性に会った」が中学生1.7%・8人(R5:1.1%・5人)、高校生2.0%・10人(R5:3.3%・16人)であった。
- 「会ったことはないが、会いたいと思った」は、中学生5.5%・26人(R5:5.7%・27人)、高校生5.2%・26人(R5:8.1%・39人)であった。(子ども回答)

- 会ったことがない人と知り合った際に利用したネットサービスについては、ソーシャルメディアが66.2%、オンラインゲームが38.8%であった。(子ども回答)
- 会ったことがない人とやりとりすることについて、「会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う」が、中学生62.5% (R5:62.7%) 高校生67.7% (R5:52.3%) と、6割以上の子どもが危険であるという認識を持っている。
一方で、「特に問題はない」が、中学生20.8% (R5:16.4%) 高校生18.3% (R5:25.5%)、「会ったことがない人とやり取りして、いい人だと思えば会うことは危険ではないと思う」が、中学生6.8% (R5:6.5%) 高校生10.2% (R5:10.4%) と回答している。(子ども回答)
- また、「会ったことがない人と、ネットでやり取りしたり、実際に会うのは危険があると思う」と感じる割合は、子どもに比べて保護者が著しく高い。
- 「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、高校生6人が「送ったことがある」と回答し、昨年から増加(R5:高校生2人)している。同じ問いに保護者は、小学生1人、中学生1人の回答で、把握出来ていない面が見られる。
- 「写真を要求されたことはあるが送っていない」子どもは、中学生15人・高校生11人の合計26人いるが、昨年度と比べ、高校生が10名減少している。同じ問いに保護者は、中学生1人・高校生1人の回答で、子どもが自画撮り写真の要求を受けたことについて、保護者が把握しているケースが少ない。また、小学生の保護者が「画像を送った」「写真の要求を受けたことがある」とそれぞれ1人ずつ回答している。
- いわゆる「自画撮り」によりその後、性的被害に遭う等の事件に巻き込まれることを知っているかについて、中学生の25.8% (R5:23.7%) 高校生の17.9% (R5:30.3%) が「知らない」と回答し、「自画撮り」被害やその後、性的被害に遭う危険性を認識していない子どももいる。
- 保護者でも8.1%が自画撮りにより性的被害に遭う等の事件が起きていることを認識していない。

(7) フィルタリングの利用状況等

- フィルタリングを利用しているのは、全体で45.9% (R5:45.8%) であり、令和5年度調査から横ばいとなっている。
- 使用するフィルタリングは、「携帯電話事業者が提供するもの」が一番多く、「iPhoneのペアレンタルコントロールやGoogleのファミリーリンク」が続いている。
- 保護者の「子どものネット利用で気をつけていること」は、「子どもの使い方に関心を持つ」が67.3% (R5:56.6%) で一番多く、続いて「インターネット利用のマナーや危険性を子どもと話し合う」が59.0% (R5:31.0%)、「家庭でルールを設ける」が52.2% (R5:67.1%) であった。「特に気をつけていることはない」保護者も2.8% (R5:2.8%) いる。

(8) 家庭でのルール

- 家庭でのルールについて、「ルールあり」と回答した子ども・保護者は、昨年度より増加しているが、年齢があがるにつれて減少する傾向にある。
- 全体として、「ルールあり」と回答した子どもは61.5%、保護者は74.6%となっており、子どもと保護者で13.1ポイントの差がある。
- ルールの内容は、子ども・保護者ともに「利用する時間」が最も多く、「利用する内容」が続いている。
- ルールが守られているかについては、子どもの55.2% (R5:55.3%)、保護者の40.2% (R5:42.8%) が「守られている」と回答し、「少し守られている」の回答を含めると、子どもの91.3% (R5:87.0%)、保護者の81.0% (R5:78.8%) が「ルールが守られている」と回答している。
- 保護者が「ルールを決めていない」理由としては、51.1%が、「子どもに任せておいて大丈夫」をあげており、続いて35.8%が「ルールを作っても守らない」と回答している。
- 「ネットの安全・安心利用のため必要なこと」は、子ども・保護者ともに「マナーや危険性について、保護者と話し合う」が一番多い。

～参考～

青少年の健全な育成に関する条例（昭和41年大分県条例第40号）【抜粋】

（青少年のインターネット接続機器利用に係る保護者等の責務）

第22条 保護者は、青少年有害情報フィルタリングソフトウェア又は青少年有害情報フィルタリングサービスの利用により、インターネットと接続する機能を有する機器を適切に管理し、青少年が当該機器を使用して青少年有害情報を閲覧し、又は視聴することがないように努めるとともに、青少年がインターネットを利用して違法な行為をし、又は自己若しくは他人に対し有害な行為をすることを防ぐため、青少年のインターネットの利用を適切に管理するように努めなければならない。

- 2 保護者は、家庭、地域その他の場において、インターネットの利用に関する青少年の健全な判断能力の育成を図るため、自らもインターネットの利用に伴う危険性及び過度の利用による弊害についての理解並びにこれらの除去に必要な知識の習得に努めるとともに、これらを踏まえて青少年とともにインターネットの利用に当たり遵守すべき事項を定めるなど適切な利用の確保に努めるものとする。

（児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止）

第37条の2 何人も、青少年に対し、次に掲げる行為を行ってはならない。

- 1 青少年に拒まれたにもかかわらず、当該青少年に係る児童ポルノ等（児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律（平成11年法律第52号）第2条第3項に規定する児童ポルノ又は同法第7条第2項に規定する電磁的記録その他の記録をいう。次号において同じ。）の提供を行うように求めること。
- 2 青少年を威迫し、欺き、若しくは困惑させ、又は青少年に対し対償を供与し、若しくはその供与の約束をする方法により、当該青少年に係る児童ポルノ等の提供を行うように求めること。

令和6年度「青少年のネット利用実態調査」結果

1 青少年のインターネット利用率・利用機器

- 全体で95%以上の子どもたちが学校以外の私生活でインターネットを利用している。
- 利用機器は、小学生はゲーム機、中学生・高校生ではスマートフォンが最も多い。
- テレビでのインターネット利用が、小・中・高校生すべてで年々増加している。
- 保護者は、ほぼ全員の子どものインターネットを利用していると認識している。

① インターネットの利用について(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=258	小5 n=274	小(計) n=532			
					n=481	n=500	n=1513
1	学校以外で使っている	84.9	95.3	90.2	98.1	99.6	95.8
2	学校以外で使っていない	15.1	4.7	9.8	1.9	0.4	4.2

※令和6年度調査から追加した項目。インターネット利用について「学校以外」と明記した。

② インターネット接続機器(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校			高校			全体		
		令和 6年度 n=480	令和 5年度 n=497	令和 4年度 n=505	令和 6年度 n=472	令和 5年度 n=472	令和 4年度 n=463	令和 6年度 n=498	令和 5年度 n=482	令和 4年度 n=508	令和 6年度 n=1450	令和 5年度 n=1456	令和 4年度 n=1476
1	スマートフォン	58.5	70.4	56.4	82.2	76.9	80.3	98.6	97.1	99.0	80.0	81.4	78.6
2	キッズケータイ(携帯電話)	16.9	20.3	21.0	17.8	17.2	16.2	8.6	16.4	7.1	14.3	18.0	14.7
3	タブレット端末(iPad等・私物)	40.4	44.7	52.7	36.2	42.1	42.1	21.7	31.7	26.0	32.6	38.7	40.2
4	タブレット端末(学校貸与)	27.1			37.3	64.4	49.5	70.7	69.9	76.2	45.4	67.2	63.4
5	パソコン	17.9	20.1	30.1	18.2	23.5	24.2	14.3	19.9	26.4	16.8	21.2	27.0
6	携帯音楽プレイヤー	7.5	7.2	8.1	8.7	10.1	8.6	5.6	6.0	5.1	7.2	7.8	7.2
7	ゲーム機	73.3	72.2	68.7	73.3	70.0	68.3	58.8	62.0	51.6	68.3	68.1	62.7
8	テレビ	71.9	70.0	69.9	70.3	69.0	66.5	68.3	61.0	53.0	70.1	66.7	63.0
9	インターネット利用機器はない		3.6	1.4		0.2	0.2		0.0	0.2		1.3	0.6
10	わからない	2.3	3.8	6.9	0.0	0.6	1.3	0.6	0.2	0.2	1.0	1.6	2.8
(再掲)	インターネット接続機器あり(利用率)※	90.2	92.6	91.7	98.1	99.2	98.5	99.6	99.8	99.6	95.8	97.1	96.6

※令和6年度調査から子どものみ上記①の「学校以外でのインターネット利用の有無」の項目を追加したため、同項目数値を利用率として計上。
令和5年度以前は、「インターネット利用機器はない」及び「わからない」と回答した数値を差し引いたものを利用率として計上。

③ インターネット接続機器(保護者回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校			高校			全体		
		令和 6年度 n=467	令和 5年度 n=443	令和 4年度 n=428	令和 6年度 n=352	令和 5年度 n=390	令和 4年度 n=327	令和 6年度 n=427	令和 5年度 n=327	令和 4年度 n=412	令和 6年度 n=1246	令和 5年度 n=1160	令和 4年度 n=1167
1	スマートフォン	52.9	51.5	50.2	80.7	71.8	76.8	98.6	96.9	98.3	76.4	71.1	74.6
2	キッズケータイ(携帯電話)	6.4	5.4	5.8	5.1	7.2	7.3	6.6	5.5	4.6	6.1	6.0	5.8
3	タブレット端末(iPad等・私物)	48.6	46.0	44.2	40.6	42.1	43.1	23.4	25.7	27.7	37.7	39.0	38.0
4	タブレット端末(学校貸与)	35.5	39.7	38.8	43.8	54.6	27.8	71.4	70.9	69.7	50.2	53.5	46.6
5	パソコン	10.7	11.7	15.7	20.7	21.8	14.4	18.0	18.0	28.9	16.1	16.9	20.0
6	携帯音楽プレイヤー	0.4	0.5	0.7	3.1	2.3	2.1	3.0	3.1	3.4	2.1	1.8	2.1
7	ゲーム機	60.6	64.1	58.2	60.8	61.3	59.6	47.3	54.4	47.8	56.1	60.4	54.9
8	テレビ	59.3	56.2	47.9	48.3	44.4	37.6	41.9	33.9	30.8	50.2	45.9	39.0
9	インターネット利用機器はない	1.7	2.9	2.1	0.3	0.3	0.6	0.0	0.3	0.0	0.7	1.3	0.9
10	わからない	0.9	0.7	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.2
(再掲)	インターネット接続機器あり(利用率)	97.4	96.4	97.4	99.4	99.7	99.4	100.0	99.7	100.0	98.9	98.4	98.9

2 青少年のスマートフォンの利用について

- 中学生は70%以上、高校生はほぼ全員が自分専用のスマートフォンを利用している。
- 自分専用のスマートフォンを利用している小学生が年々増加している。
(R4: 25.9%⇒R5:34.9%⇒R6:38.8%)
- スマートフォンの利用開始時期は、高校生は「中学生から」が約半数、中学生は「小学生から」が約半数となっている。

① スマートフォンの利用について(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=219	小5 n=261	小(計) n=480			
					n=472	n=498	n=1448
1	自分専用のものを利用	25.6	49.8	38.8	74.6	99.4	70.4
2	家族のものを利用	49.8	24.1	35.8	14.0	0.4	18.6
3	利用していない	21.0	23.8	22.5	11.4	0.2	10.9

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

② スマートフォンの利用開始時期について(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校
		小2	小5	小(計)		
					n=418	n=497
1	小学生より前				2.2	0.4
2	小学生				51.4	26.0
3	中学生				46.4	54.5
4	高校生					19.1

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和5年度調査分

① スマートフォンの利用について(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=227	小5 n=268	小(計) n=495			
					n=473	n=474	n=1425
1	自分専用のものを利用	26.9	41.8	34.9	65.1	98.1	66.4
2	家族のものを利用	49.3	33.6	40.8	16.9	1.3	20.2
3	利用していない	18.9	22.4	20.8	18.0	0.6	13.4

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

② スマートフォンの利用開始時期について(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校
		小2	小5	小(計)		
					n=388	n=471
1	小学生より前				2.1	1.1
2	小学生				48.2	18.5
3	中学生				47.9	57.7
4	高校生					22.7

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

3 青少年のインターネット利用内容

- インターネット利用内容は、小学生では、「動画視聴」「オンラインゲーム」「音楽視聴」の順(昨年と同じ)に、中学生では、「動画視聴」「SNS」「音楽視聴」の順(昨年「動画視聴」「情報検索」「音楽視聴」)に、高校生では、「SNS」「動画視聴」「音楽視聴」の順(昨年「動画視聴」「SNS」「音楽視聴」)に多くなっている。
- 年齢層が上がるにつれ、「SNS」の利用率が増加傾向にある。
- 利用するサービスは、「動画視聴」が最も多く、全体の約90%が利用している。
- 利用しているソーシャルメディアは、中学生では「YouTube」「LINE」「Tik Tok」の順(昨年と同じ)に多く、高校生でも「LINE」「YouTube」「Instagram」の順(昨年と同じ)に多くなっている。
- 中学生・高校生ともに、「Bereal」「Threads」といった新しいアプリの利用が増えている。
- 子ども全体の約2割がゲーム中にチャットやボイスチャットをしている。
- スマホやネットを利用する理由は、中学生・高校生ともに「分からないことを調べる、情報収集」「家族や友達との連絡手段」「趣味を楽しむ」が上位であるが、「暇つぶし」で利用している生徒も中学生・高校生で約35%いる。
- SNS利用時、中学生・高校生の約80%が、「他人の悪口を書いたり侮辱しない」「自分や他人の個人情報を書き込まない」等に気をつけている。
- SNS利用時、「特に気をつけていない」という子どもは、全体で約7%となっている。

① 利用するサービス(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=472	高校 n=498	全体 n=1450/ (3、12、14 n=970)
		小2 n=219	小5 n=261	小(計) n=480			
1	SNS	18.3	43.7	32.1	79.0	98.4	70.1
2	動画視聴	81.3	86.2	84.0	92.2	96.2	90.8
3	動画をアップする				7.8	6.6	7.2
4	音楽視聴	37.4	46.4	42.3	73.1	83.1	66.3
5	オンラインゲーム	78.1	79.7	79.0	63.1	59.0	67.0
6	ゲーム中にチャットやボイスチャットをする	12.8	24.5	19.2	26.3	16.7	20.6
7	情報検索	19.6	48.3	35.2	70.1	75.1	60.3
8	ニュース	24.7	29.9	27.5	31.4	36.3	31.8
9	地図・ナビゲーション	8.2	16.5	12.7	30.9	47.0	30.4
10	電子書籍(読書)	13.2	15.3	14.4	22.0	40.0	25.7
11	ショッピング・オークション	13.2	6.5	9.6	12.1	22.1	14.7
12	お小遣いサイト				2.5	3.0	2.8
13	勉強のページやアプリ	16.9	24.9	21.3	15.9	22.3	19.9
14	ビデオ通話、Web会議などでのリアルタイムのやりとり				16.7	19.5	18.1

② 利用しているソーシャルメディアの種類(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=472	高校 n=498	全体 n=970
		小2	小5	小(計)			
1	LINE				78.8	99.8	89.6
2	Facebook				4.0	4.0	4.0
3	X				28.8	50.2	39.8
4	Instagram				45.3	86.3	66.4
5	Pixiv				9.3	13.5	11.4
6	YouTube				90.5	95.4	93.0
7	ツイキャス				3.0	7.8	5.5
8	ニコニコ動画・生放送				6.6	8.0	7.3
9	Tik Tok				46.4	73.7	60.4
10	パラレル				6.8	4.2	5.5
11	whoo				9.1	21.9	15.7
12	BeReal				10.4	37.3	24.2
13	Threads				5.7	9.6	7.7
14	+メッセージ				14.4	9.8	12.1
15	Discord				9.3	14.7	12.1
16	カカオトーク				0.8	1.2	1.0
17	BoxFresh・Peing等 匿名質問アプリ				6.4	2.2	4.2
18	利用していない				1.5	0.0	0.7
19	その他				2.3	2.4	2.4

③スマホ、ネットやアプリ等を利用する理由(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=472	高校 n=498	全体 n=970
		小2	小5	小(計)			
1	分からないことを調べる、情報収集				61.7	66.9	64.3
2	家族や友達との連絡手段				69.5	77.3	73.5
3	家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ				32.8	48.8	41.0
4	自分の活動を多くの人に知ってもらう				2.1	1.0	1.5
5	趣味を楽しむ				57.8	62.7	60.3
6	スケジュールを調整する				1.9	1.4	1.6
7	みんながやっているから				4.7	1.0	2.8
8	暇つぶし				41.7	30.3	35.9
9	お小遣いを稼ぐため				0.8	1.0	0.9
10	学校の宿題などをするため				5.7	3.6	4.6
11	その他				0.8	0.0	0.4

※複数選択式から最大3つの選択式に変更(令和6年度)

④SNS利用時に気をつけていること(子ども回答) (令和2年度から掲載) 単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=472	高校 n=498	全体 n=970
		小2	小5	小(計)			
1	他人の悪口を書いたり侮辱しない				72.5	88.4	80.6
2	自分や他人の個人情報を書き込まない				75.8	87.8	82.0
3	他人の写真を勝手に投稿したり、拡散したりしない				66.7	79.5	73.3
4	他人を自殺に追い込むような書き込みをしない				65.7	77.5	71.8
5	他人の著作物を無断で使わない				59.7	72.7	66.4
6	他人のIDやパスワードを利用しない				61.7	70.9	66.4
7	特に気をつけていない				10.4	4.0	7.1

4 青少年のインターネット利用時間

- 平日に2時間以上ネットを利用しているのは、小学生41.1% (R5: 36.5%)、中学生58.7% (R5: 50.8%)、高校生56.5% (R5: 67.4%)であり、全体では57.5% (R5: 51.6%)と増加している。
- 小学生は、昨年度に比べ、5年生の利用時間が増加している。(子ども回答)
- 中学生は、昨年度に比べ、4時間以上の利用が約7ポイント増加している。(子ども回答)
- 保護者が把握している子どもの利用時間よりも実際の子どもの利用時間が多く、2時間以上利用では小学生で18ポイント、中学生では15ポイント、高校生で7ポイントの差がある。

① 平日の利用時間(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=219	小5 n=261	小(計) n=480			
1	使わない	5.0	2.3	3.5	0.8	0.2	0.5
2	30分未満	17.8	3.8	10.2	3.8	1.0	2.4
3	30分～1時間未満	28.8	17.2	22.5	9.7	8.6	9.2
4	1時間～2時間未満	20.5	24.5	22.7	26.9	33.7	30.4
5	2時間～3時間未満	14.2	21.8	18.3	22.9	29.9	26.5
6	3時間～4時間未満	8.2	9.2	8.8	14.8	13.1	13.9
7	4時間以上	5.5	21.1	14.0	21.0	13.5	17.1
(再掲)	2時間以上利用	27.9	52.1	41.1	58.7	56.5	57.5

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和5年度調査分 平日の利用時間(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=214	小5 n=265	小(計) n=479			
1	使わない	21.0	6.4	12.9	1.5	0.4	4.9
2	30分未満	19.6	6.0	12.1	7.4	0.8	6.8
3	30分～1時間未満	24.3	20.8	22.3	13.9	6.4	14.2
4	1時間～2時間未満	14.5	22.6	19.0	27.1	24.7	23.6
5	2時間～3時間未満	8.9	19.6	14.8	27.7	24.7	22.4
6	3時間～4時間未満	7.0	10.6	9.0	9.0	18.0	12.0
7	4時間以上	10.7	14.3	12.7	14.1	24.7	17.2
(再掲)	2時間以上利用	26.6	44.5	36.5	50.8	67.4	51.6

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

② 平日の利用時間(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=459	n=351	n=427	n=1237
1	使わない	8.7	1.1	0.0	3.6
2	30分未満	11.3	7.7	1.2	6.8
3	30分～1時間未満	23.7	12.8	10.5	16.1
4	1時間～2時間未満	34.2	33.0	35.8	34.4
5	2時間～3時間未満	15.0	25.6	27.9	22.5
6	3時間～4時間未満	5.4	9.4	11.5	8.6
7	4時間以上	3.1	8.5	9.6	6.9
8	わからない	0.4	1.7	3.5	1.9
(再掲)	2時間以上利用	23.5	43.5	49.0	38.0

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和5年度調査分 平日の利用時間(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=430	n=389	n=326	n=1145
1	使わない	8.8	2.8	0.3	4.4
2	30分未満	13.3	7.7	1.2	7.9
3	30分～1時間未満	22.8	19.3	7.1	17.1
4	1時間～2時間未満	34.0	31.4	25.5	30.7
5	2時間～3時間未満	15.1	21.3	32.8	22.3
6	3時間～4時間未満	5.1	10.5	13.5	9.3
7	4時間以上	3.3	3.9	16.6	7.2
8	わからない	0.5	2.8	3.4	2.1
(再掲)	2時間以上利用	23.5	35.7	62.9	38.8

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

5 青少年のインターネット利用による生活の変化

- 子どもと保護者を比較すると、子どもの方がインターネット利用により「友人関係が良好になった」「友達が増えた」「分からないことを自分で調べるようになった」など良い(プラス)傾向を示す回答が変わらず多い。
- 「使いすぎ・依存の傾向がある」と回答したのは、中学生が24.8%(R5:28.6%)高校生が37.1%(R5:27.2%)で、保護者のうち、小学生が41.6%(R5:36.0%)中学生が43.9%(R5:39.6%)高校生が40.5%(R5:39.6%)であり、子どもの約3割、保護者の約4割はインターネット依存について課題意識を持っている。

① 子ども回答

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=472	高校 n=498	全体 n=970
		小2	小5	小(計)			
1	家族のコミュニケーションが増えた				18.9	19.3	19.1
2	家族のコミュニケーションが減った				11.9	14.9	13.4
3	成績が上がった				7.6	4.6	6.1
4	成績が下がった				18.2	21.5	19.9
5	睡眠不足になった				24.4	29.9	27.2
6	目が悪くなった				31.4	35.3	33.4
7	本を読まなくなった				20.6	20.9	20.7
8	テレビを見なくなった				26.7	40.2	33.6
9	友人関係が良好になった				36.7	41.4	39.1
10	友人関係を気にするようになった				11.2	12.7	12.0
11	友達が増えた				35.2	42.8	39.1
12	友達が減った				1.3	0.8	1.0
13	友達とのやりとりで不安な気持ち、嫌な気持ちになるときがある				10.2	7.2	8.7
14	勉強に集中できない				16.1	15.5	15.8
15	使いすぎ・依存の傾向がある				24.8	37.1	31.1
16	分からないことを自分で調べるようになった				53.8	58.6	56.3
17	特に変わりはない				15.5	8.2	11.8
18	わからない				3.2	2.6	2.9

② 保護者回答

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=459	n=351	n=427	n=1237
1	家族のコミュニケーションが増えた	12.6	12.8	18.7	14.8
2	家族のコミュニケーションが減った	13.1	19.9	23.7	18.7
3	成績が上がった	1.3	2.0	4.0	2.4
4	成績が下がった	5.0	17.9	18.7	13.4
5	睡眠不足になった	9.2	24.8	36.8	23.1
6	目が悪くなった	19.8	27.6	26.9	24.5
7	本を読まなくなった	16.8	23.4	19.0	19.4
8	テレビを見なくなった	26.8	32.8	40.0	33.1
9	友人関係が良好になった	8.1	15.7	19.9	14.3
10	友人関係を気にするようになった	3.5	6.0	7.0	5.4
11	友達が増えた	7.2	10.5	19.2	12.3
12	友達が減った	0.0	0.6	0.5	0.3
13	友達とのやりとりで不安な気持ち、嫌な気持ちになるときがある	2.6	7.4	7.3	5.6
14	勉強に集中できない	13.5	21.4	18.5	17.5
15	使いすぎ・依存の傾向がある	41.6	43.9	40.5	41.9
16	分からないことを自分で調べるようになった	22.7	34.8	43.3	33.2
17	特に変わりはない	17.4	9.1	8.2	11.9
18	わからない	2.2	2.3	2.3	2.3

6 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談

- 子ども・保護者ともに、約93%がトラブルの経験はないと回答している。
 ○ トラブルの内容のうち、子ども・保護者ともに、「悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ」「SNSなどやりとりで嫌な思いをした」「知らない人やお店からメッセージが来たり、迷惑メールが届いた」が多い。

① ネット利用時の問題やトラブル(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=472	高校 n=498	全体 中高n=970/ 小中高n=1450
		小2 n=219	小5 n=261	小(計) n=480			
1	悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ	1.8	1.9	1.9	2.3	1.8	2.0
2	悪口や嫌がらせのメッセージを送った、書き込みした、無視や仲間外れした	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.5
3	SNSなどやりとりで嫌な思いをした	0.5	0.8	0.6	2.8	2.4	1.9
4	掲示板等で、自分や他人の情報(名前や写真、メールアドレス、IDなど)を書き込んだ				0.0	0.4	0.2
5	怪しいサイトやいやらしいサイトを見た				0.0	0.4	0.2
6	ゲームやアプリでお金を使いすぎた	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2	0.3
7	プライバシーを侵害、差別的な内容が掲載されているサイトにアクセスした				0.0	0.4	0.2
8	知らない人やお店等からメッセージが来たり、迷惑メールが届いた	0.9	0.8	0.8	0.4	0.6	0.6
9	ワンクリック詐欺の被害(Webを見ていて金額を請求された等)				0.2	0.2	0.2
10	プライバシーの侵害(個人情報、隠しておきたいことを勝手に公開された等)				0.6	1.0	0.8
11	なりすましの被害に遭った(勝手に自分のIDを使われた等)				0.2	0.2	0.2
12	いじめや暴力行為、裸の画像や動画を撮影、送信、アップされた				0.0	0.0	0.0
13	コンピュータウイルスなどの被害にあった	2.3	0.8	1.5	0.0	0.0	0.5
14	怪しいバイトに登録した				0.0	0.0	0.0
15	その他				1.1	0.0	0.5
16	トラブルの経験はない	90.4	93.5	92.1	93.6	95.6	93.8

② ネット利用時の問題やトラブル(保護者回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=467	n=348	n=421	n=1236
1	悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ	1.5	3.4	2.1	2.3
2	悪口や嫌がらせのメッセージを送った、書き込みした、無視や仲間外れした	0.4	0.9	0.0	0.4
3	SNSなどやりとりで嫌な思いをした	0.2	2.3	5.0	2.4
4	掲示板等で、自分や他人の情報(名前や写真、メールアドレス、IDなど)を書き込んだ	0.0	0.9	0.7	0.5
5	怪しいサイトやいやらしいサイトを見た	0.4	0.3	0.5	0.4
6	ゲームやアプリでお金を使いすぎた	0.6	1.7	0.5	0.9
7	プライバシーを侵害、差別的な内容が掲載されているサイトにアクセスした	0.0	0.3	0.0	0.1
8	自分が知らない人やお店等からメッセージやメールが送られてきた	0.0	0.9	1.9	0.9
9	ワンクリック詐欺の被害(Webを見ていて金額を請求された等)	0.0	0.0	0.2	0.1
10	プライバシーの侵害(個人情報、隠しておきたいことを勝手に公開された等)	0.0	1.1	1.0	0.6
11	なりすましの被害に遭った(勝手に自分のIDを使われた等)	0.2	0.0	0.5	0.2
12	いじめや暴力行為、裸の画像や動画を撮影、送信、アップされた	0.0	0.3	0.5	0.2
13	コンピュータウイルスなどの被害にあった	0.0	0.3	0.0	0.1
14	わからない	0.0	0.0	0.5	0.2
15	トラブルの経験はない	97.0	92.0	90.5	93.4

- ネット利用時の相談先については、家族、友人、次いで学校の先生が多い。
- 「ネット上の友達」への相談については、全体で6.7%(R5:10.8%)と減少している。
- 「チャイルドライン・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察」への相談した子どもはいなかった。
- 「トラブルはあるが誰にも相談しなかった」子どもが全体で23.3%いる。

③ ネット利用時の相談先(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=21	小5 n=17	小(計) n=38			
					n=30	n=22	n=90 (7:n=52)
1	家族に相談した	71.4	52.9	63.2	43.3	40.9	51.1
2	学校の先生に相談した	14.3	11.8	13.2	43.3	31.8	27.8
3	友人に相談した	0.0	23.5	10.5	46.7	68.2	36.7
4	ネット上の友達に相談した	0.0	5.9	2.6	6.7	13.6	6.7
5	知り合いの大人に相談した	4.8	0.0	2.6	3.3	4.5	3.3
6	チャイルドライン・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	「Yahoo!知恵袋」や「教えて!goo」などの質問・相談サイト				0.0	0.0	0.0
8	トラブルはあるが誰にも相談しなかった	19.0	41.2	28.9	16.7	22.7	23.3

- 相談しなかった理由は、全体では「自己解決した」が最も多い。
- 高校生では、「相談することで問題が大きくなると考えた」との回答もあり、トラブルを隠したがる傾向も見られる。

④ トラブル時に誰にも相談しなかった理由(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2	小5	小(計)			
					n=5	n=5	n=10
1	相談先がわからなかった				20.0	20.0	20.0
2	自己解決した				60.0	80.0	70.0
3	相談するのが恥ずかしかった				0.0	40.0	20.0
4	相談することで問題が大きくなったと思った				0.0	80.0	40.0
5	その他				20.0	0.0	10.0

- 約4割の子どもが「解決していない」「分からない」と回答しており、トラブルの解決には至っていないものもある。

⑤ トラブルは解決しましたか(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=21	小5 n=17	小(計) n=38			
					n=30	n=22	n=90
1	解決した	76.2	52.9	65.8	63.3	59.1	63.3
2	解決していない	9.5	11.8	10.5	10.0	13.6	11.1
3	分からない	14.3	35.3	23.7	26.7	27.3	25.6

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

- 「ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりした」子どもは、中学生31.8% (R5:29.2%)、高校生38.0% (R5:48.8%)であった。(子ども回答)
- 「ネットで知り合った人と実際に会った」では、「同性に会った」が中学生3.6%・17人 (R5:2.3%・11人)、高校生4.4%・22人 (R5:6.8%・33人)、「異性に会った」が中学生1.7%・8人 (R5:1.1%・5人)、高校生2.0%・10人 (R5:3.3%・16人)であった。
- 「会ったことはないが、会いたいと思った」は、中学生5.5%・26人 (R5:5.7%・27人)、高校生5.2%・26人 (R5:8.1%・39人)であった。(子ども回答)
- 会ったことがない人と知り合った際に利用したネットサービスについては、ソーシャルメディアが66.2%、オンラインゲームが38.8%であった。(子ども回答)
- 会ったことがない人とやりとりすることについて、「会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う」が、中学生62.5% (R5:62.7%) 高校生67.7% (R5:52.3%)と、6割以上の子どもが危険であるという認識を持っている。一方で、「特に問題はない」が、中学生20.8% (R5:16.4%) 高校生18.3% (R5:25.5%)、「会ったことがない人とやり取りして、いい人だと思えば会うことは危険ではないと思う」が、中学生6.8% (R5:6.5%) 高校生10.2% (R5:10.4%)と回答している。(子ども回答)
- また、「会ったことがない人と、ネットでやり取りしたり、実際に会うのは危険があると思う」と感じる割合は、子どもに比べて保護者が著しく高い。

⑤-1 ネットで知り合った人とのやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校		中学校 n=472		高校 n=498		全体 n=970	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりをした			150	31.8	189	38.0	339	34.9
2	ネットで知り合った人(同性)とやり取りして、実際に会った			17	3.6	22	4.4	39	4.0
3	ネットで知り合った人(異性)とやり取りして、実際に会った			8	1.7	10	2.0	18	1.9
4	会ったことはないが、会いたいと思った			26	5.5	26	5.2	52	5.4
5	このような経験はない			317	67.2	305	61.2	622	64.1

⑤-2 子どもがネットで知り合った人とのやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校 n=467		中学校 n=352		高校 n=427		全体 n=1246	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりをした	27	5.8	55	15.6	59	13.8	141	11.3
2	ネットで知り合った人(同性)とやり取りして、実際に会った	0	0.0	2	0.6	3	0.7	5	0.4
3	ネットで知り合った人(異性)とやり取りして、実際に会った	0	0.0	0	0.0	2	0.5	2	0.2
4	会ったことはないが、会いたいと言っていた	0	0.0	4	1.1	5	1.2	9	0.7
5	このような経験はない	434	92.9	268	76.1	317	74.2	1019	81.8
6	わからない	3	0.6	21	6.0	49	11.5	73	5.9

⑤-3 知り合った際に利用したネットサービス(子ども回答)(令和5年度から掲載)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=165	高校 n=193	全体 n=358
		小2	小5	小(計)			
1	LINEやTikTokなどのソーシャルメディア				61.2	70.5	66.2
2	動画配信・投稿サイト				13.3	6.7	9.8
3	オンラインゲーム				47.3	31.6	38.8
4	その他				7.3	5.2	6.1

⑥-1 会ったことがない人とやりとりすること(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校		中学校 n=472		高校 n=498		全体 n=970	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	特に問題はないと思う			98	20.8	91	18.3	189	19.5
2	会ったことがない人とやり取りして、いい人と思えば会うことは危険ではないと思う			32	6.8	51	10.2	83	8.6
3	会ったことがない人と、ネットでやり取りするのは危険があると思う			201	42.6	151	30.3	352	36.3
4	会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う			295	62.5	337	67.7	632	65.2
5	しつこく会おうと誘われたら断れないと思う			30	6.4	38	7.6	68	7.0
6	相手に好意を持っていれば会いたいと思う			12	2.5	42	8.4	54	5.6
7	興味本位・面白半分で会ってもいいと思う			5	1.1	2	0.4	7	0.7
8	わからない			57	12.1	33	6.6	90	9.3

⑥-2 子どもが会ったことがない人とやりとりすること(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校 n=467		中学校 n=352		高校 n=427		全体 n=1246	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	特に問題はないと思う	7	1.5	6	1.7	14	3.3	27	2.2
2	会ったことがない人とやり取りして、いい人と思えば会うことは危険ではないと思う	10	2.1	9	2.6	15	3.5	34	2.7
3	会ったことがない人と、ネットでやり取りするのは危険があると思う	328	70.2	233	66.2	288	67.4	849	68.1
4	会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う	376	80.5	287	81.5	325	76.1	988	79.3
5	しつこく会おうと誘われたら断れないと思う	64	13.7	26	7.4	38	8.9	128	10.3
6	相手に好意を持っていれば会いたいと思う	22	4.7	8	2.3	17	4.0	47	3.8
7	興味本位・面白半分で会ってもいいと思う	0	0.0	1	0.3	0	0.0	1	0.1
8	わからない	12	2.6	12	3.4	20	4.7	44	3.5

- 「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、高校生6人が「送ったことがある」と回答し、昨年から増加(R5:高校生2人)している。同じ問いに保護者は、小学生1人、中学生1人の回答で、把握出来ていない面が見られる。
- 「写真を要求されたことはあるが送っていない」子どもは、中学生15人・高校生11人の合計26人いるが、昨年度と比べ、高校生が10名減少している。同じ問いに保護者は、中学生1人・高校生1人の回答で、子どもが自画撮り写真の要求を受けたことについて、保護者が把握しているケースが少ない。また、小学生の保護者が「画像を送った」「写真の要求を受けたことがある」とそれぞれ1人ずつ回答している。
- いわゆる「自画撮り」によりその後、性的被害に遭う等の事件に巻き込まれることを知っているかについて、中学生の25.8%(R5:23.7%) 高校生の17.9%(R5:30.3%)が「知らない」と回答し、「自画撮り」被害やその後、性的被害に遭う危険性を認識していない子どももいる。
- 保護者でも8.1%が自画撮りにより性的被害に遭う等の事件が起きていることを認識していない。

⑦-1 裸や下着姿の写真のやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内 容	小学校		中学校 n=472		高校 n=498		全体 n=970	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある			0	0.0	6	1.2	6	0.6
2	写真を要求されたことはあるが送っていない			15	3.2	11	2.2	26	2.7
3	ない			457	96.8	481	96.6	938	96.7

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和5年度調査分 裸や下着姿の写真のやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内 容	小学校		中学校 n=477		高校 n=482		全体 n=959	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある			0	0.0	2	0.4	2	0.2
2	写真を要求されたことはあるが送っていない			14	2.9	21	4.4	35	3.6
3	ない			461	96.6	456	94.6	917	95.6

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑦-2 子どもが裸や下着姿の写真のやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内 容	小学校 n=466		中学校 n=346		高校 n=424		全体 n=1236	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある	1	0.2	1	0.3	0	0.0	2	0.2
2	写真を要求されたことはあるが送っていない	1	0.2	1	0.3	1	0.2	3	0.2
3	ない	458	98.3	326	94.2	383	90.3	1167	94.4
4	わからない	6	1.3	18	5.2	40	9.4	64	5.2

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和5年度調査分 裸や下着姿の写真のやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内 容	小学校 n=441		中学校 n=385		高校 n=324		全体 n=1150	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある	0	0.0	1	0.3	1	0.3	2	0.2
2	写真を要求されたことはあるが送っていない	1	0.2	0	0.0	1	0.3	2	0.2
3	ない	438	99.3	371	96.4	283	87.3	1092	95.0
4	わからない	2	0.5	13	3.4	39	12.0	54	4.7

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑧-1 自画撮りにより性的被害に遭うなどの事件が起きていることについて(子ども回答) 単位(人/%)

番号	内 容	小学校		中学校 n=477		高校 n=482		全体 n=959	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	知っている			350	74.2	409	82.1	759	78.2
2	知らない			122	25.8	89	17.9	211	21.8

⑧-2 自画撮りにより性的被害に遭うなどの事件が起きていることについて(保護者回答) 単位(人/%)

番号	内 容	小学校 n=455		中学校 n=344		高校 n=413		全体 n=1212	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	知っている	422	92.7	323	93.9	369	89.3	1114	91.9
2	知らない	33	7.3	21	6.1	44	10.7	98	8.1

7 フィルタリングの利用状況等

- フィルタリングを利用しているのは、全体で45.9% (R5:45.8%)であり、令和5年度調査から横ばいとなっている。
 ○ 使用するフィルタリングは、「携帯電話事業者が提供するもの」が一番多く、「iPhoneのペアコントロールやGoogleのファミリーリンク」が続いている。
 ○ 保護者の「子どものネット利用で気をつけていること」は、「子どもの使い方に関心を持つ」が67.3% (R5:56.6%)で一番多く、続いて「インターネット利用のマナーや危険性を子どもと話し合う」が59.0% (R5:31.0%)、「家庭でルールを設ける」が52.2% (R5:67.1%)であった。「特に気をつけていることはない」保護者も2.8% (R5:2.8%)いる。

① フィルタリングの利用状況について(保護者回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校			高校			全体		
		令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
		n=463	n=442	n=430	n=349	n=389	n=330	n=429	n=325	n=422	n=1241	n=1156	n=1182
1	利用している	40.2	36.9	38.6	50.4	51.4	51.5	48.5	51.1	52.6	45.9	45.8	47.2
2	利用していない	25.9	25.3	25.1	22.1	23.4	23.9	25.6	22.8	25.1	24.7	24.0	24.8
3	利用していたが解除した	1.7	3.2	1.4	6.6	5.4	5.2	12.4	15.1	12.8	6.8	7.3	6.5
4	わからない	8.9	11.5	12.6	11.2	10.3	13.0	13.5	11.1	9.2	11.1	11.0	11.5

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

② フィルタリングの種類(保護者回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=186	n=176	n=208	n=570
1	携帯電話事業者が提供するフィルタリング	51.1	62.5	70.2	61.6
2	iPhoneのペアコントロールやGoogleのファミリーリンク	28.5	31.8	22.6	27.4
3	Wi-Fi等の無線LAN対応フィルタリング	6.5	4.5	4.3	5.1
4	アプリ対応フィルタリング	25.8	9.1	8.2	14.2
5	よくわからない	7.0	4.5	1.9	4.4

※「iPhoneのペアコントロールやGoogleのファミリーリンク」は、令和6年度調査から追加した項目。

③ 青少年のインターネット利用で気をつけていること(監督方法)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=467	n=352	n=427	n=1246
1	フィルタリング利用など、有害サイトへのアクセス制限	45.2	51.1	42.9	46.1
2	子どもがどのような使い方をしているか関心をもつ	71.3	70.7	60.2	67.3
3	インターネット利用のマナーや危険性を子どもと話し合う	57.8	67.3	53.4	59.0
4	子どもの使い方を明細(金額・時間)や閲覧履歴で把握	28.3	30.4	26.9	28.4
5	利用について家庭でルールを設ける	60.0	57.7	39.1	52.2
6	個人情報やパスワード等のプライバシー保護対策	36.2	42.6	35.6	37.8
7	ウイルス対策や不正アクセス対応	24.4	29.5	24.8	26.0
8	気をつけていることはない	1.5	2.3	4.7	2.8

8 家庭でのルール

- 家庭でのルールについて、「ルールあり」と回答した子ども・保護者は、昨年度より増加しているが、年齢があがるにつれて減少する傾向にある。
- 全体として、「ルールあり」と回答した子どもは61.5%、保護者は74.6%となっており、子どもと保護者で13.1ポイントの差がある。
- ルールの内容は、子ども・保護者ともに「利用する時間」が最も多く、「利用する内容」が続いている。
- ルールが守られているかについては、子どもの55.2%(R5:55.3%)、保護者の40.2%(R5:42.8%)が「守られている」と回答し、「少し守られている」の回答を含めると、子どもの91.3%(R5:87.0%)、保護者の81.0%(R5:78.8%)が「ルールが守られている」と回答している。
- 保護者が「ルールを決めていない」理由としては、51.1%が、「子どもに任せておいて大丈夫」をあげており、続いて35.8%が「ルールを作っても守らない」と回答している。
- 「ネットの安全・安心利用のため必要なこと」は、子ども・保護者ともに「マナーや危険性について、保護者と話し合う」が一番多い。

① 家庭のルールの有無(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=219	小5 n=261	小(計) n=480			
1	ルールあり	73.1	67.8	70.2	63.8	51.0	61.5
2	ルールなし	26.9	32.2	29.8	36.2	49.0	38.5

【参考】令和5年度調査分 家庭のルールの有無(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=218	小5 n=260	小(計) n=478			
1	ルールあり	67.9	63.5	65.5	64.1	42.6	57.3
2	ルールなし	32.1	36.5	34.5	35.9	57.4	42.7

② 家庭のルールの有無(保護者回答)

単位(%)

番号	内容	小学校	中学校	高校	全体
		n=460	n=346	n=426	n=1232
1	ルールあり	83.3	80.3	60.6	74.6
2	ルールなし	16.7	19.7	39.4	25.4

【参考】令和5年度調査分 家庭のルールの有無(保護者回答)

単位(%)

番号	内容	小学校	中学校	高校	全体
		n=433	n=383	n=326	n=1142
1	ルールあり	80.1	79.4	55.2	72.8
2	ルールなし	19.9	20.6	44.8	27.2

③ ルールの内容(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=160	小5 n=177	小(計) n=337			
1	利用する時間	87.5	83.1	85.2	74.1	63.4	75.2
2	利用する金額	9.4	4.5	6.8	14.6	15.4	11.9
3	利用する場所	24.4	17.5	20.8	16.6	12.6	17.0
4	利用する内容	17.5	24.3	21.1	25.9	28.7	24.9
5	成績が下がったら使えない	4.4	6.8	5.6	23.9	18.5	15.5

④ ルールの内容(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=383	n=278	n=258	n=919
1	利用する時間	88.3	78.8	58.9	77.1
2	利用する金額	13.6	20.9	31.8	20.9
3	利用する場所	29.0	30.9	25.6	28.6
4	利用する内容	44.9	51.4	44.6	46.8
5	成績が下がったら使えない	6.5	22.7	24.8	16.5

⑤ ルールが守られているか(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=160	小5 n=177	小(計) n=337			
1	守られている	60.0	54.2	57.0	52.2	56.3	55.2
2	少し守られている	33.8	37.9	35.9	35.5	37.0	36.1
3	あまり守られていない	4.4	5.6	5.0	9.3	5.5	6.6
4	ほとんど守られていない	1.9	2.3	2.1	3.0	1.2	2.1

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑥ ルールが守られているか(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=383	n=278	n=258	n=919
1	守られている	43.6	36.7	38.8	40.2
2	少し守られている	41.5	43.2	37.2	40.8
3	あまり守られていない	12.8	15.5	19.4	15.5
4	ほとんど守られていない	2.1	5.0	3.5	3.4

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑦ ルールを決めていない理由(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=77	n=68	n=168	n=313
1	子どもに任せておいて大丈夫	14.3	48.5	69.0	51.1
2	トラブルになると思わない	10.4	7.4	10.7	9.9
3	ルールを作っても守らない	33.8	39.7	35.1	35.8
4	ルールづくりが分からない	6.5	5.9	6.5	6.4
5	家庭内ルールを作ると保護者も守る必要がでてくる	6.5	4.4	2.4	3.8

⑧ ネットの安全・安心利用のため必要なこと(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2	小5	小(計)			
					n=481	n=500	n=981
1	マナーや危険性について、友達と話し合う				33.1	32.2	32.6
2	マナーや危険性について、保護者と話し合う				64.0	72.4	68.3
3	子どもが中心になってルールを決める				16.0	21.6	18.9
4	大人が中心になってルールを決める				32.0	22.4	27.1
5	フィルタリングの利用など、有害サイトへのアクセスを制限する				42.2	50.8	46.6
6	情報セキュリティ対策をする				57.0	60.6	58.8
7	学校の授業で情報セキュリティを学ぶ				41.2	47.4	44.3
8	学校や地域で情報モラルの講演会を実施する				15.4	15.2	15.3
9	ネットを利用しないですむ方法を考える				8.7	9.6	9.2
10	ICTを積極的に活用し、安全に利用する方法を学ぶ				36.8	40.8	38.8

⑨ ネットの安全・安心利用のため必要なこと(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=467	n=352	n=427	n=1246
1	マナーや危険性について、友達と話し合う	34.5	47.7	48.7	43.1
2	マナーや危険性について、保護者と話し合う	88.4	84.7	80.1	84.5
3	子どもが中心になってルールを決める	13.5	16.8	17.1	15.7
4	大人が中心になってルールを決める	39.0	34.7	23.7	32.5
5	フィルタリングの利用など、有害サイトへのアクセスを制限する	78.2	71.3	60.0	70.0
6	情報セキュリティ対策をする	60.4	60.5	58.5	59.8
7	学校の授業で情報セキュリティを学ぶ	63.6	64.5	52.0	59.9
8	学校や地域で情報モラルの講演会を実施する	20.8	30.4	22.2	24.0
9	ネットを利用しないですむ方法を考える	10.9	6.8	4.7	7.6
10	ICTを積極的に活用し、安全に利用する方法を学ばせ	45.8	50.6	45.2	47.0